

I 施設の概要

施設名	荒川清掃事務所				
所在地	町屋五丁目19番1号				
所管部署	荒川清掃事務所				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	1947年	219,907	国・都	区債
	増改築①	1970年(旧館)			一般財源
	増改築②	1986年(新館)			
竣工年月日	昭和22年4月1日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和22年4月1日		職員数	70人 14人(清掃R課)	
構造	RC造		階層	新館:地上3階 旧館:地上4階	
面積	敷地面積		1854.83㎡		
	延床面積		新館:728.15㎡ 旧館:1090.45㎡		
設置目的・経緯	区内廃棄物の発生抑制、再利用・資源化の促進及び適正処理 平成12年4月、都から特別区に清掃事業が移管				
関連部署	環境課・清掃リサイクル課				
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等				
駐車場の状況	62台	バリアフリー	○エレベーター	○だれでもトイレ	
駐輪場の状況	20台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から	
事業内容	廃棄物の収集、運搬及び処分、庁舎建物の維持管理等					
対象者	一般区民、区内事業者					
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後4時25分				
	休日	日曜日、年末年始の指定日				
利用者数等	作業(開所)日数(日)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込み)
		311	310	313	312	310
その他		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込み)
	電気使用量(Kw)	89,661	93,380	88,388	89,114	-
	ガス使用量(m³)	34,793	30,802	28,258	29,942	-
	水道使用量(m³)	6,198	6,409	6,217	6,081	-
	二酸化炭素(CO2)排出量(t)	125	119	108	112	-
	ごみ排出量・可燃(kg)	6,526	6,720	10,178	4,990	-
ごみ排出量・不燃(kg)	4,437	374	421	55	-	

III 財務諸表

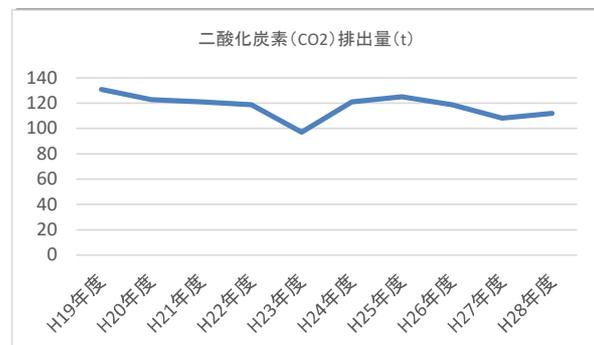
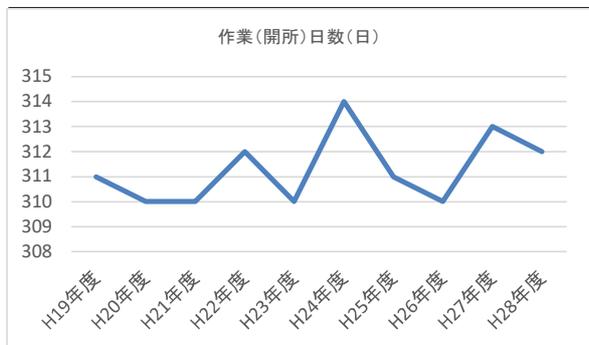
(単位:千円)

	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	
		行政コスト計算書	給与関係費	-		575,220	-	地方税等	-
	物件費	-	977,176	-	国庫支出金	-	0	-	
	維持補修費	-	10,538	-	都支出金	-	0	-	
	扶助費	-	0	-	分担金及び負担金	-	0	-	
	補助費等	-	826	-	使用料及び手数料	-	167,529	-	
	減価償却費	-	4,650	-	その他	-	361	-	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-	行政収入合計(a)	-	167,890	-	
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	29,090	-	行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲1,429,610	-	
	その他行政費用	-	0	-	金融収支差額(d)	-	0	-	
	行政費用合計(b)	-	1,597,500	-	通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲1,429,610	-	
	特別費用(g)	-	0	-	特別収入(f)	-	0	-	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-	当期収支差額(e)+(h)	-	▲1,429,610	-	
貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	勘定科目	H27年度	H28年度	差額	
	流動資産	収入未済	-	0	-	流動負債	-	29,090	-
		不納欠損引当金	-	0	-	還付未済金	-	0	-
		その他の流動資産	-	0	-	特別区債	-	0	-
	固定資産	有形固定資産	-	476,148	-	賞与引当金	-	29,090	-
		土地	-	326,611	-	その他の流動負債	-	0	-
		建物	-	219,907	-	固定負債	-	543,272	-
		建物減価償却累計額	-	▲70,370	-	特別区債	-	0	-
		工作物等	-	3,749	-	退職給与引当金	-	543,272	-
		工作物等減価償却累計額	-	▲3,749	-	その他の固定負債	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-	負債の部合計	-	572,362	-	
	建設仮勘定	-	0	-	正味財産	-	▲94,930	-	
その他の固定資産	-	1,284	-	正味財産の部合計	-	▲94,930	-		
資産の部合計	-	477,432	-	負債及び正味財産の部合計	-	477,432	-		
備考	ごみの収集・運搬、動物死体の処理、大規模排出事業者等に対する排出指導等、清掃事務所の業務全般に係る経費が行政コストとして計上されている。(ただし、南千住清掃車庫に関する経費を除く)								

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	33.1	-
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	-	878,423	-

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	総ごみ量(1人1日当たり)(グラム)	目標値 743	723	705	684	664
		実績値 756	733	725	701	-
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
現状・課題	<p>○施設の老朽化に伴い、維持管理費等の経費が増大している。</p> <p>○不燃ごみ及び粗大ごみの資源化を進めるにあたり、施設内のスペースが限られていることから、選別作業を実施することが難しい。</p> <p>○収集作業従事職員の雇上への移行を進めていることから、それらの作業員の待機・休憩場所を確保していく必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○公共施設等総合管理計画に基づきに基づき、大規模修繕を実施する。また、小規模修繕についても、コストや効率を考慮しながら無駄のない方法により実施する。</p> <p>○金属系粗大ごみの資源化については施設内で選別作業を実施しているが、不燃ごみについては選別作業を含めた委託契約により実施している。今後、更なる資源化を進める場合には、不燃ごみと同様に選別作業を含めて委託していく必要がある。</p> <p>○雇上作業員の待機・休憩場所については、南千住清掃車庫の有効活用等による確保を検討する。</p>					
議会、利用者等からの意見						



平成29年度 施設分析シート

I 施設の概要

施設名	南千住清掃車庫				
所在地	南千住四丁目1番8号				
所管部署	荒川清掃事務所				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成12年2月23日	380,197	国・都	区債
	増改築①				一般財源
竣工年月日	平成12年2月23日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成12年3月1日		職員数	9人	
構造	S造3階		階層	地上3階	
面積	敷地面積	1,900㎡			
	延床面積	管理棟: 994.80㎡	洗車場: 123.52㎡		
設置目的・経緯	廃棄物の収集、運搬及び処分作業自動車の管理運営等				
関連部署	環境課・清掃リサイクル課				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
設置条例	荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等				
駐車場の状況	18台	バリアフリー	エレベーター	だれでもトイレ	
駐輪場の状況	4台	対応状況	点字ブロック	スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から
事業内容	収集作業用自動車及び作業用具等の管理、庁舎建物の維持管理棟				
対象者	一般区民・区内事業者				
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後4時25分			
	休日	日曜日、年末年始の指定日			
利用者数等	作業(開所)日数(日)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		311	310	313	312
その他	電気使用量(Kw)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	ガス使用量(m)	90,188	93,232	91,427	94,284
	水道使用量(m)	6,391	6,630	7,209	5,791
	二酸化炭素(CO2)排出量(t)	2,272	2,321	2,292	2,253
	ごみ排出量・可燃(kg)	62	64	62	60
	ごみ排出量・不燃(kg)	750	1,350	1,123	801

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			H27年度	H28年度	差額	勘定科目			H27年度	H28年度	差額
	H27年度	H28年度	差額				H27年度	H28年度	差額			
行政コスト計算書	給与関係費	-	67,606	-			地方税等	-	0	-		
	物件費	-	16,226	-			国庫支出金	-	0	-		
	維持補修費	-	801	-			都支出金	-	0	-		
	扶助費	-	0	-			分担金及び負担金	-	0	-		
	補助費等	-	483	-			使用料及び手数料	-	56	-		
	減価償却費	-	12,546	-			その他	-	55	-		
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-			行政収入合計(a)	-	111	-		
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	3,419	-			行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 100,970	-		
	その他行政費用	-	0	-			金融収支差額(d)	-	0	-		
	行政費用合計(b)	-	101,081	-			通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 100,970	-		
特別費用(g)	-	0	-			特別収入(f)	-	0	-			
特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-			当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 100,970	-			
貸借対照表	流動資産	収入未済	-	0	-		流動負債	-	3,419	-		
		不納欠損引当金	-	0	-		還付未済金	-	0	-		
		その他の流動資産	-	0	-		特別区債	-	0	-		
	固定資産	有形固定資産	-	900,306	-		賞与引当金	-	3,419	-		
		土地	-	733,400	-		その他の流動負債	-	0	-		
		建物	-	380,197	-		固定負債	-	63,851	-		
		建物減価償却累計額	-	▲ 213,290	-		特別区債	-	0	-		
		工作物等	-	64,856	-		退職給与引当金	-	63,851	-		
		工作物等減価償却累計額	-	▲ 64,856	-		その他の固定負債	-	0	-		
	無形固定資産	-	0	-		負債の部合計	-	67,270	-			
建設仮勘定	-	0	-		正味財産	-	833,036	-				
その他の固定資産	-	0	-		正味財産の部合計	-	833,036	-				
資産の部合計	-	900,306	-		負債及び正味財産の部合計	-	900,306	-				

備考 物件費は、小型プレス車のリース費用、ガソリン等燃料費、建物の清掃等維持管理に係る委託料等が計上されている。補助費は、自動車保険料等である。

指標		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	62.5	-
	1㎡あたりコスト(円)	-	-	-	90,386	-

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
現状・課題	<p>○竣工から20年近く経ち、施設修繕費が増加している。</p> <p>○直営清掃車の減少に伴い確保できた駐車スペースを、雇上会社の清掃車両の待機・休憩場所として活用している。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○公共施設等総合管理計画に基づき、大規模修繕を実施する。また、小規模修繕についても、コストや効率を考慮しながら無駄のない方法により実施する。</p> <p>○荒川清掃事務所において雇上作業員の増加が見込まれることから、その待機・休憩場所として、南千住清掃車庫の有効活用による確保を検討する。</p>					
議会、利用者等からの意見						

